

別記1 【③運營業務(ソフト事業等)の実施】

研 究 業 績

○原著論文(査読付学術雑誌)

第一著者

1. 嶋田哲郎・植田睦之・高橋佑亮・内田 聖・時田賢一・杉野目 斉・三上かつら・矢澤正人. 2018. GPS-TX によって明らかとなった越冬期のオオハクチョウ, カモ類の環境選択. *Bird Research* 14: A1-A12.
2. Shimada, T., Yamada, Y., Hijikata, N., Tokita, K., Uchida, K., Kurechi, M., Suginome, H., Suzuki, Y. & Higuchi, H. 2018. Utilisation of terrestrial habitat by Black Brant *Branta bernicla nigricans* after the Great East Japan Earthquake of 2011. *Wildfowl* 68: 172-182.
3. 藤本泰文・速水裕樹. 2018. 伊豆沼・内沼におけるタナゴ *Acheilognathus melanogaster* の再確認. 伊豆沼・内沼研究報告 12: 79-83.
4. 藤本泰文. 2018. 地域の自然環境の保全とアメリカザリガニとの付き合い方 ～伊豆沼・内沼での活動から～. *Cancer* 27: 149-151.
5. 藤本泰文. 2018. 葉柄の刈払いがハス *Nelumbo nucifera* の枯死に及ぼす影響. 応用生態工学会誌 21: 37-43.
6. 高橋佑亮・藤本泰文. 2018. 2007年の航空写真より計測した伊豆沼・内沼の水面形状および面積. 伊豆沼・内沼研究報告 12: 17-25.
7. 上田紘司・芦澤 淳・藤本泰文. 2018. 伊豆沼・内沼およびその周辺水域におけるトンボ目成虫の種組成と季節消長. 伊豆沼・内沼研究報告 12: 9-16.
8. 速水裕樹・藤本泰文. 2018. 伊豆沼・内沼に分布する抽水植物を対象とした地上部現存量の簡易的な推定試験. 伊豆沼・内沼研究報告 12: 1-8.

共著

1. 植田睦之・嶋田哲郎・内田聖・杉野目斉・高橋佑亮・時田賢一・三上かつら. 2018. GPS 発信機で追跡したオオハクチョウの位置情報のデータ. *Bird Research* 14: R1-R4.
2. Yasuno, N., Fujimoto, Y., Shimada, T., Shikano, S., Kikuchi, E. 2018. Food sources contributing to the diet of common and crucian carps in a shallow, temperate, eutrophic lake. *Northeast Asian Studies* 22: 29-40.
3. Yasuno, N., Sako, Y., Shikano S., Shimada, T., Ashizawa, J., Fujimoto, Y., Kikuchi, E. 2018. Hypoxia within macrophyte vegetation limits the use of methane-derived carbon by larval chironomids in a shallow temperate eutrophic lake. *Hydrobiologia* 822: 69-84.
4. 植田睦之・嶋田哲郎・菊地デイル万次郎・三上かつら・内田 聖・高橋佑亮・時田賢一・杉野目斉・矢澤正人. 2018. 越冬地におけるオオハクチョウとオナガガモの飛行高度. *Bird Research* 14: 13-18.
5. Yasuno N, Sako Y, Shikano S, Shimada T, Ashizawa J, Fujimoto Y, Kikuchi E. 2018. Hypoxia within macrophyte vegetation limits the use of methane-derived carbon by larval chironomids in a shallow temperate eutrophic lake. *Hydrobiologia* 822: 69-84.
6. Nagata N, Kitamura J, Inaba O, Kumagai M, Fujimoto Y, Kawata M, Sota T. 2018. Phylogeography of endangered bitterling *Acheilognathus melanogaster* endemic to eastern Japan. *Zoological Sciences* 35: 396-401.
7. Yasuno N, Fujimoto Y, Shimada T, Shikano S, Kikuchi E. 2018. Food sources contributing to the diet of common and crucian carps in a shallow, temperate, eutrophic lake. *Northeast Asian Studies* 22: 29-40.

○学会やシンポジウムにおける発表

第一著者

1. 嶋田哲郎・植田睦之・高橋佑亮・内田聖・時田賢一・杉野目齊・三上かつら・矢澤正人.
2018. GPS-TX によって明らかとなった越冬期のオオハクチョウ、カモ類の環境選択. 日本鳥学会 2018 年度大会, 新潟.
2. 高橋佑亮・鈴木透・嶋田哲郎. 2018. ガンカモ類がドローンから忌避する要因：ローター音を忌避しているのか？ 第 13 回伊豆沼・内沼研究集会.

共著

1. 山田浩之・小西哲也・横山諒・牛山克己・高橋佑亮・嶋田哲郎. 2018. 遠隔操作監視カメラシステムと画像処理を用いたマガン飛来数の推定. 第 13 回伊豆沼・内沼研究集会.
2. 鈴木透・高橋佑亮・嶋田哲郎. 2018. ドローンを用いたチュウサギの生息地利用に関するモニタリング手法の開発. 第 13 回伊豆沼・内沼研究集会.
3. 佐々木瑞希・中尾稔・柏木敦士・藤本泰文・嶋田哲郎. 2018. 伊豆沼の貝類における寄生虫調査—鳥類および哺乳類を終宿主とする吸虫類の中間宿主としての役割—. 第 13 回伊豆沼・内沼研究集会.

○一般普及書

1. 嶋田哲郎. 2018. ロボットやネットワークカメラ, ドローンを活用した湿地生態系の監視・管理システムの構築. 日本鳥学会誌 67: 157-159.
2. Shimada, T. 2018. Whooper Swans foraging on fruit in Japan. Swan newsletter 14: 23-24.
2. 嶋田哲郎. 2018. 国後島訪問記. 鳥学通信ブログ
<http://ornithology-japan.sblo.jp/article/184062911.html>.
3. 植田睦之・嶋田哲郎. 2018. オナガガモも土日はお休み？ バードリサーチニュースレター.
<https://db3.bird-research.jp/news/201812-no1/?key=ongg>

○委員会委員・非常勤講師など

(嶋田総括研究員)

1. 希少野生動植物保存推進員(環境省)
2. 重要生態系監視地域モニタリング推進事業(ガンカモ類調査)検討委員(環境省)
3. 宮城県生物多様性地域戦略検討委員 (宮城県)
4. 伊豆沼・内沼自然再生協議会委員 (宮城県)
5. 栗原市環境審議会委員 (栗原市)
6. 登米市環境審議会委員 (登米市)
7. 登米市生物多様性ため戦略検討委員会委員 (登米市)
8. 日本鳥学会評議員、事務局庶務幹事、企画委員 (日本鳥学会)
(藤本研究員)
1. 希少野生動植物保存推進員(環境省)
2. 宮城県希少野生動植物保護対策検討会委員 (宮城県)
3. 宮城県自然環境保全審議会専門委員 (宮城県)
4. 栗駒山麓ジオパーク推進協議会防災・教育部会委員 (栗原市)
5. 遠野市山口集落伝統文化的景観保存調査委員 (遠野市)
6. 旧品井沼ため池群自然再生推進委員 (環境省)
7. 日本魚類学会自然保護委員 (日本魚類学会)
8. 流域環境保全ネットワーク副理事